

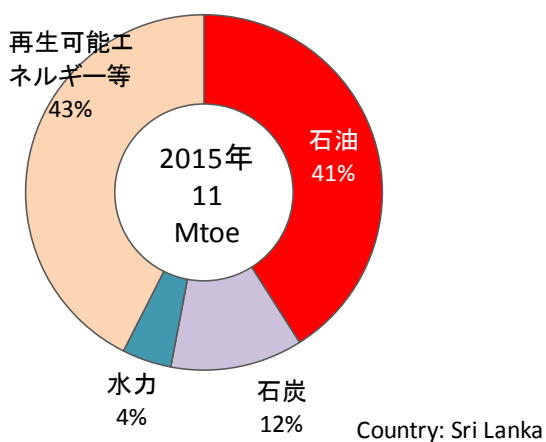
1-20 スリランカ

1. サマリー

1. エネルギー事情

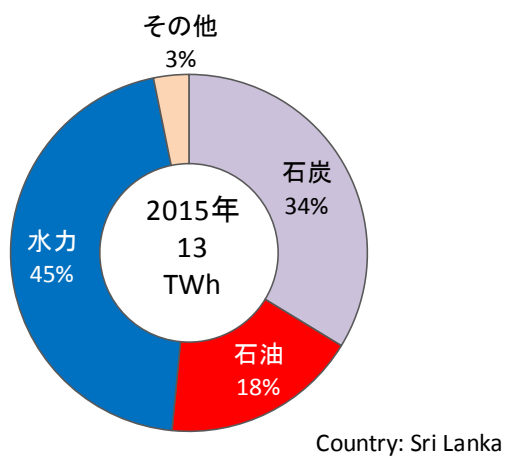
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 11 百万 toe (日本の 0.03 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 0.55toe (日本の 0.16 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 47%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 19.5 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 1.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 0.90 CO₂ 換算 ton (日本の 10.0%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 該当なし

一次エネルギー供給構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 電力・再生可能エネルギー省 (Ministry of Power and Renewable Energy) がスリランカ全土の電力、エネルギー計画の策定および管理を担う。

(2) 基本政策

- エネルギー政策の基本方針は「国家エネルギー政策・戦略」により規定されている。2015年3月に公表された「Sri Lanka Energy Sector Development Plan for a Knowledge-based Economy 2015-2025」では、2030年までにエネルギーを100%自国で賄うため、重点的に取り組む8つの分野を設定し、それぞれに戦略と具体的なプログラムを掲げている。

(3) 最近の動向

- 2017年1月、「力強いスリランカ」と題した国家経済開発計画を発表。今後10年間の開発計画という位置づけで、①対外通商政策、②広範囲に及ぶインフラ開発、③国内の制度改革、の3点で構成されている。インフラ開発では、南西部と北東部における大規模な2つの経済回廊の構想が打ち出されている。
- 2017年5月、Wickremasinghe 首相は北京で開かれた「一帯一路」国際協力ハイレベルフォーラムの首脳会議において、一帯一路イニシアティブへ積極的に関与していく方針を強調した。
- 2017年7月、スリランカと中国はスリランカ南部 Hanbantota 港の権益について、スリランカ側が中国側に港の管理会社の株式の一部を99年間譲渡する合意文書に調印した。
- 2017年10月、Sirisena 大統領はカタールを訪問、Sheikh Tamim bin Hamad al-Thani 首相との会談で、エネルギー分野の協力強化等に関するMOUを締結。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2016年5月、安倍首相は来日した Sirisena 大統領と初の首脳会談を実施。全国送配電網整備等で総額約380億円の円借款を供与することを表明したほか、Colombo 港およびその周辺開発等に官民一体となって取り組む旨述べた。
- 2017年4月、Wickremesinghe 首相が日本を訪問し、安倍首相と会談。両首脳は、「質の高いインフラ投資」等を通じ、地域の連結性を強化するための二国間協力を一層促進することで一致。世耕経済産業大臣との会談では、スリランカのLNG導入実現に向けエネルギー協力を両国で進めていくことで合意。
- 2017年9月、インドのPetronetはスリランカ政府に対し、同国初のLNGターミナルの建設を日本企業と提案していることを明らかにした。2百万tonのターミナルを2020年までに整備し、新規に火力発電所を整備するほか、既存の石油火力をLNG火力に転換する。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Sri Lanka

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		11 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.55 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.15 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		47 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		19.5 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		0.90 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	12 %
	石油	41 %
	天然ガス	41 %
	原子力	0 %
	水力	4 %
	再生可能エネルギー等	43 %
(8) エネルギーの輸入依存度		53 %
(9) 石油の輸入依存度		100 %
(10) 輸入原油の中東依存度		NA %
(11) 原油の輸入先	第1位	NA
	第2位	NA
	第3位	NA

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA